

第12回黒潮町 地区防災計画シンポジウム

～我がこととして感じる手作りの防災計画～

日時 令和8年8月30日(日)13時受付開始
場所 黒潮町総合センター(黒潮町佐賀1080-1)
問合せ 黒潮町役場情報防災課 0880-43-2188

プログラム

手話通訳あり

- 13:30 開会行事
- 13:35 トンガからの報告
- 13:45 黒潮町のおはなし玉手箱「34Mの町から」
- 14:00 学校実践報告「佐賀中学校の取り組み」
- 14:15 自主防災会実践報告「大和田地区・浜の宮地区」
- 14:45 基調講演「東日本大震災から15年、大川小から未来へつなぐいのちのバトン」只野哲也さん
- 15:45 (休憩)
- 16:00 パネルディスカッション
「東日本大震災から15年、地区防災計画の新たな挑戦」
- 16:55 閉会行事

基調講演 只野 哲也 さん



1999年生まれ、宮城県石巻市出身。2011年の東日本大震災当時、石巻市立大川小学校5年生(11歳)で被災。津波により家族3人(妹、母、祖父)を失い、自身は生還した4人の児童のひとり。

2014年より卒業生らと「チーム大川」を発足し、校舎の震災遺構保存運動に取り組む。現在は「一般社団法人 Team大川 未来を拓くネットワーク」代表として全国で伝承活動や紙灯籠を灯す「おかえりプロジェクト」等を展開。大川小学校周辺で「誰もが安心して集えるコミュニティづくり」と地域振興に挑戦している。

学校実践報告



佐賀中学校で行われている防災教育。生徒自らが地域で日頃の備えや不安なことなどを聞き取る「高齢者訪問」や、年10回以上の避難訓練など、佐賀中学校では年間を通して命の尊さや生き方を学ぶ防災学習が行われています。主体的に取り組んでいる活動を発表します。

パネルディスカッション

■パネリスト

片田 敏孝(東京大学大学院 情報学環 特任教授)
只野 哲也(一社 Team大川 未来を拓くネットワーク 代表理事)
高石 麻子(一社 黒潮町観光ネットワーク)
大西 勝也(黒潮町長)

■コーディネーター

矢守 克也(京都大学防災研究所 巨大災害研究センター教授)

【主催】黒潮町自主防災会連絡協議会 【共催】黒潮町・黒潮町教育委員会・黒潮町消防団 【後援】高知県

8月30日（日）

夜間避難訓練の内容

訓練時間	訓練メニュー	訓練内容
19:00	訓練開始	地震発生をお知らせする緊急地震速報が町内放送及び告知端末から鳴ります。
19:00から	シェイクアウト訓練 (身を守る訓練)	緊急地震速報の後、地震発生（地震音）を流すので、身を守る行動を2分間行います。 安全行動 3つの動作 まず低く▶頭を守り▶動かない その後、安全の確認をします
津波浸水内地域	津波避難訓練	安全を確認しながら避難場所へ避難します。 ①交通ルールを守り、安全を最優先に考え、避難場所へ避難してください。 ②代表者が災害対策本部へ避難者数の報告をしてください。 (地区の方が避難者数を確認してください)
	避難所開設訓練	各地区の避難所へ避難し、避難所の開設の準備を行います。 ①2～3名が到着したら建物外部の損壊状況を目視で確認。 ②避難所の入口を開け避難者を受け入れる。 ③代表者が避難者数を災害対策本部へ報告。 (地区の方が避難者数を確認してください)
20:00頃まで (予定)	訓練終了	訓練が終了した地域から解散してください。 ※帰る際も避難時と同様に安全には十分注意して行動してください。

※交通事故に遭わないよう、夜間でも光もの・反射する物を身につけましょう